

第56回日本痛風・尿酸核酸学会総会

ランチオンセミナー1

演題

心腎連関と尿酸治療 —XOR阻害による血管保護

座長

久留 一郎 先生

国立病院機構 米子医療センター 病院長/
鳥取大学医学部ゲノム再生医学講座
再生医療学分野 特任教授

演者

野出 孝一 先生

佐賀大学循環器内科主任教授・
内科主任教授

日時

2023年 2月23日 (木・祝) 12:25～13:25

会場

グランドヒル市ヶ谷 東館 3階「瑠璃」
東京都新宿区市谷本村町4-1

開催形式

現地開催

共催：第56回日本痛風・尿酸核酸学会総会



株式会社 富士薬品

2022年12月作成
TPR90079A

心腎連関と尿酸治療

—XOR阻害による血管保護

野出 孝一 先生

佐賀大学循環器内科主任教授・
内科主任教授

コホート研究からは高尿酸血症は心筋梗塞、脳梗塞の危険因子であるが、尿酸が如何にして動脈硬化や血管障害を惹起するかは不明である。尿酸値は日内変動があり、早朝に高値を呈するが、その機序として、キサンチンオキシダーゼ(XO)活性の日内変動が関与していることが示唆される。一方、尿酸値の変動は血中NO濃度と相反する事から、高尿酸血症が血管内皮機能低下をきたすことで、心血管イベントを増加することも考えられる。痛風発作や心血管イベント抑制の観点からも、日内変動も含めた尿酸管理が必要である。高尿酸血症に対する介入のエビデンスに関しては、我々はXOR阻害薬による動脈硬化進展抑制効果を検討したPRIZE研究を行ったが、サブ解析を含めた結果を紹介する。